

# 水曜 1 限：日本語会話クラス

## 三宮担当：第二回

テーマ：「苗字」＋「さん」で呼び合う人間関係

状況設定：大学に入って初めて出会う学生同士が自己紹介しあう。

# 日本人は名前の前半を使う

三宮＋郁子→三宮さん  
池上＋嘉彦→池上さん  
山田＋花子→山田さん  
川野＋太郎→川野さん

ジョン・ブラウン→ジョンさん  
ビル・クリントン→ビルさん  
トム・アダムズ →トムさん

日本人は外国人の名前と苗字をときどき混同している。

Also, of course:

ブラウンさん  
クリントンさん  
アダムズさん

# 1. 「～さん」と呼べる名前を使う

0歳～小学生ごろ：○○ちゃん（○○は名前やニックネーム）

中学～高校生ごろ：××さん（××は苗字）  
××

大学生：××さん  
××

△△ちゃん（△△はニックネームなど）

社会人：××さん（外で、内輪で） 例外：  
「先生」

○○さん（内輪）

# 例外：声に出さない時

言葉で書く時

「～さん」か「～様（さま）」

例 封筒の宛名書き： 池上郁子様  
池上嘉彦先生  
三宮郁子先生

# 例外：「先生」について

「～先生」が使える対象：

医者、歯医者、医療・治療士

弁護士、会計士など

教師（保育士、幼稚園～小中高大学の教師）

その他「師」と仰ぐ人

政治家、宗教家など

<注意>

- 本人が自分を指して使うことはない。（例外：「先生のするようにやってみましょう。ここを折って、ここを畳んで・・・。」）
- 目の前で呼びかけるときは「センセイ！」  
目の前にいなければ（メールや手紙で書く時）「～先生」

# 具体例一 「～さん」と呼べる名前を使う

例：池上郁彦 (m.)、郁子 (f)

0歳～小学生ごろ：m. フミちゃん、フミくん、フミ

f. イクコちゃん、イクちゃん、イク

中学～高校生ごろ：池上くん (m)、池上さん (f)

大学生：池上さん (f., m.)、池上くん (m)

フミ、フミくん、イクさん (内輪 (家族、親戚など))

社会人：池上さん (m, f : 外で、内輪で)

池上くん (会社の男性上司などから)

## 2. 日本語の苗字を見つけよう

「音」の類似性から選んでみました：

Katka . . . . . 加藤(Kato)さん

Tzan . . . . . 丹野(Tanno)さん

Adriana . . . . . 安藤(Ando)さん

Tomáš . . . . . 富田(Tomita)くん

Klára . . . . . 倉田(Kurata)さん

Anna . . . . . 安野(Anno)さん

パ行音とラ行音で始まる苗字は日本語には殆どないので、**Petr**さんと**Lucie**さんの名前は「意味の類似性」で考えてみました。

▪

Choose your name !

意味の類似性から選んでみました：

Petr . . . . . 石本(Ishimoto)、石田(Ishida)くん

Lucie . . . . . 光野(Mitsuno)、光田(Mitsuda)、

光岡(Mitsuoka)さん



### 3. 自己紹介をしよう (1)

#### 練習 1 :

△ 「こんにちは。私・僕は チェコ出身の  
○○です。」

▲ a. 「うわあ、遠くから来たんですね。チェ  
コのどこ出身ですか。」

b. 「うわあ、遠くからいらしたんですね。  
チェコのどこご出身ですか。」

Cf : 「いらした=いらっしゃった」

△ 「チェコの南の方のブルノ（という町）です。」

a. 「どこの出身ですか」

b. 「どこのご出身ですか」

▲ 「私・僕は北海道です。札幌の出身です。」

# 3. 自己紹介をしよう (2)

## 練習 2

- 1) 自分の「日本名の苗字」を使う
- 2) 日本の地方名や県名
- 3) その中の市や町の名前

△ 「こんにちは。私・僕は □□出身の○○です。」

▲ a. 「そうなんですか。□□のどこ出身ですか。」

b. 「そうなんですか。□□のどこご出身ですか。」

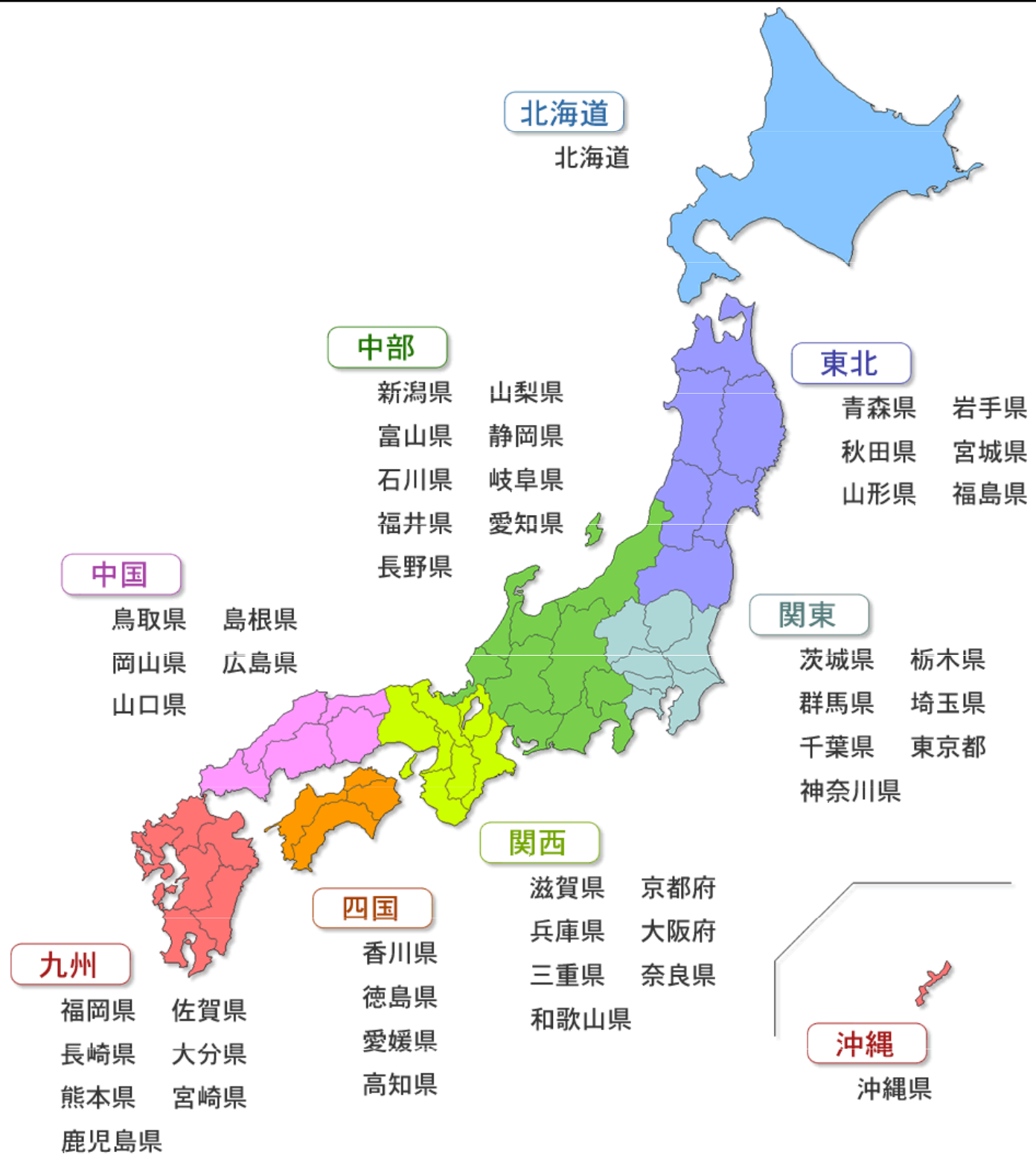
Cf : 「いらした=いらっしゃった」

△ 「□□の南の方の■■ (という町) です。」

a. 「どこの出身ですか」

b. 「どこのご出身ですか」

▲ 「私・僕は九州です。福岡の出身です。」



# 日本の地方名

ー 4 7 都道府県を 9 つのブロック  
にー

北海道

東北

関西

九州

四国

（「関東地方」、「中部地方」、「中国地方」はあまり言わない。具体的な都府県名を使うほうがわかりやすい）

Cf. 沖縄県は単独で言及

# 自分の“日本の出身地”を決めよう

練習 3 : 比較的大きな町を選ぶ :

1) 県名と県庁所在地の名が同じ場合

「高知県のどこ出身ですか。」

「高知市です。」

2) 県名と県庁所在地名が違う・その県の別の町の出身」

「宮城県のどこ出身ですか」 — 「仙台です」

「宮城県のどこ出身ですか」 — 「釜石

# 自分の“日本の出身地”を決めよう

練習 4 : 小さな町や村を選ぶ :

1) その県の市、町、村の出身

「宮城県のどこ出身ですか」 — 「遠野です」

「兵庫県のどこ出身ですか」 — 「芦屋です」

「北海道のどこ出身ですか」 — 「富良野です」



# その町についてインターネットで 少し調べよう

練習 5 : そのまちについて話すー町自慢  
「どんな町ですか」

「小さなまちですけれど、海に近くてお魚がおいしいですよ。」

「小さなまちですが、山陰の小京都と呼ばれています。」

「小さな村ですが、スキー場があって、冬にはウィンタースポーツが楽しめますよ。」